

## 1. 授業内容

平和とは何か？ この答えを見つけることは難しいことです。米ソ冷戦期に始まる平和学という学問も、当初は、核戦争の脅威と冷戦を背景に戦争そのものを研究対象としていましたが、今では世界中にはびこるさまざまな形の暴力（構造的暴力ともいう）を視野に入れ、その射程を拡大させてきています。そのためかえって、平和とは何かという問いに、答えにくくなっているのかもしれませんが。そこで、この平和学の講義では、私たちの大学のある広島での出来事を一つの題材として、平和とは何か、という問題を考えてみたいと思います。

## 2. 授業計画

- 第1回 ガイダンス、平和とは何か？ 広島とヒロシマの視点
- 第2回 原爆①：核兵器の開発と原発開発
- 第3回 原爆②：核被害（広島、長崎、第五福竜丸、劣化ウラン弾など）
- 第4回 原爆③：広島に落とされた原爆の実態
- 第5回 原爆④：核抑止戦略とヒロシマの願い（核軍縮の歩み）
- 第6回 毒ガス①：大久野島での毒ガス製造とその被害
- 第7回 毒ガス②：日本製毒ガスの使用とその被害
- 第8回 毒ガス③：毒ガスをめぐる国際状況
- 第9回 毒ガス④：イラン・イラク戦争での毒ガス被害
- 第10回 強制連行①：広島に強制連行された朝鮮人と中国人
- 第11回 強制連行②：植民地支配と強制連行
- 第12回 強制連行③：戦後補償の問題
- 第13回 強制連行④：在広韓国・朝鮮人問題
- 第14回 試験

（注：「朝鮮人」は朝鮮半島に暮らしていた人々という意味で使用しています。詳細は講義で解説します）

## 3. 教科書

ありません。毎回、配布資料を用意します。

## 4. 参考文献

講義の中で、適宜、支持します。

## 5. 備考

答えのないテーマを模索します。しかも政治信条などによって、かなり評価の異なるテーマを扱います。皆さんがそれぞれ、自分にとっての平和とは何か、という問いについて考えていただければよいと考えています。積極的な参加を期待しています。なお、特別講師として被爆者の方などのお話を聞ける機会を設けたいと考えています。そのため、特別講師の事情に応じて、シラバスに予定していることが変更される可能性があります。ご了承ください。（できるだけ事前に予告できるようにします）